



町長エッセイ

Essay

庄内町長 原田真樹

### 町の少子化と人口減少対策は、総合住宅政策の「住まいるタウン」構想で！

みなさんこんにちは。

現在の町の人口減少や少子化についてお話しします。現在、町の人口は、平成30年9月末現在21,400人余です。合併時の平成17年7月合併時から約3,200人の減少です。平成23年から平成29年までのデータを平均すると、毎年の出生と死亡の差が-200人、転入と転出の差が-80人と毎年280人ほどの減少となります。▲出生数は、年平均135人ですが、地区ごとのバランスが崩れて来ました。現在、小学校の児童数は、余目第一小学校233人、第二小210人、第三小227人、第四小145人、立川小193人と、余目第四小学校が最も少ない状況です。これは、新興住宅団地や民間アパート等の住宅事情も影響していると考えられます。少子化対策として、町ではこれまで、住宅建設支援や子育て応援策などハード、ソフト両面に手広く手掛け、効果を上げて来ました。

▲しかし、今後は、厳しくなる財政状況や人口バランスも見ながらの選択と集中が必要です。そのため、人口減少対策に力を入れて効果を上げている全国の事例はないかと調査した結果、民間の資力を活用した若者の移住策を積極的に図っている自治体がありました。そこで、その仕組みを本町に置き換え、実現出来ないかと候補地を考えて見たところ、

▲第四小学校区の南野集落は、町有地が活用でき、高規格道路の開通で環境が変わってきています。ここに、町外からの若い移住者限定の「子育て応援住宅」16戸を整備したらどうなるかを想定しました。この事業は、民間事業者が4～5カ月の短期間で住宅の建設を行い、町がその住宅を借り上げ、家賃を支払うという極めて単純な仕組みです。町が単独で行えば、2年はかかり町債も増加します。格段に時間、手間、財政面で有利です。

▲特に、今回の事業は、余目第四小学校の児童確保という利点もありますが、町全体の教育の在りかたの根幹にも影響がおよびます。今回、最大の効果を図り、移住しやすい時期として来年度の新入学に向けた計画を組んで見ました。残念ながら、この9月議会で、一部理解が得られず、来年の新入学児童は見込めません。ただし、全国の状況から見て、少子化と人口減少対策は、早いもの勝ちの状況です。私の「公約」、町全域におよぶ総合住宅政策「住まいるタウン」構想を軸に解決を急ぎます。



### 6次産業化で頑張っている人をご紹介します！

一度は地元を離れ、東京で働いていたという鶴岡市にお住まいの小池貴士さんは、農家の長男。親孝行をしたい！という想いを胸に地元に戻ってきました。「低価格で市場に出荷せざるを得ない規格外のだだちゃ豆を、付加価値をつけて世に出したい」とクラッセ共同利用加工場で、だだちゃ豆の加工技術について開発してきました。小池さんが出した答えは「風味にこだわった乾燥加工」だだちゃ豆を粉末で販売することにしました。そしてついに乾燥機を購入し、自分の工場を立ち上げました。今は「地ばんgood（鶴岡市にあるパン屋）」さんと共同で「だだちゃ豆の食パン」を開発中だそうです。2名の雇用者を抱えて未来の農業を担う若者は今日もお嫁さんとかわいい子どもたちのために元気に頑張っています！

【つぶやき】小池さんご夫婦は様々なテレビの番組にも出場した経験の持ち主。持ち前の明るさが人をひきつけるのですね！（ほっこり）



写真右から2番目の方が小池さん▲



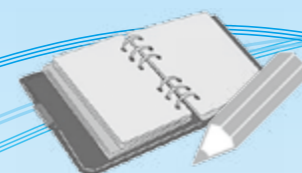
### ギャラリー温泉 町湯からのお知らせ

今年も周年祭開催  
10月27日(土)、28日(日)  
現在好評中の変わり風呂  
女子：薔薇風呂  
男子：キハダ風呂  
両日ともポイント3倍小学生幼児にお菓子プレゼント。10月は座敷無料開放します！

■問合せ／ギャラリー温泉町湯 ☎0234-43-2222

✉ info@machiyu.jp

HP http://machiyu.jp



## 広報委員 放浪記



### しおんざか 四恩坂

◆撮影場所 きんかさんかんきじ 金華山歓喜寺

金華山歓喜寺は清河八郎とその妻お蓮の眠る寺として、有名なお寺です。今回は、本堂の横をまわって裏手にある四恩坂と林泉のお庭をご紹介します。

つづら折りの趣のある四恩坂には、仏様に手引きをしてくださるといわれる四体のお地藏様が、所々に鎮座しています。また、坂の中腹には清水観音様が祀られていて、その凛としているお姿を初めて拝見したとき、お蓮さんはこのような方だったのではないかと感じました。四恩坂の名前の由来をご住職に教えていただきました。「四恩」とは仏法用語で衆生（生命のあるものすべて）がこの世で受ける父母・国・衆民・仏の四つの恩を意味しているとのことです。

そして6～8月、お庭の池には一面に睡蓮の花が咲くとのことです。ぜひ来年訪れてみてください。



●取材／広報委員⑤

### 夏の終わりに地藏さま

◆第一学区 安産地藏尊

西野集落に入ると大きな松の木が見えます。その松の木の下には小屋があり、中には地藏さまが祀られています。地藏さまが小屋の中に祀られているのはめずらしく、このあたりではここだけといわれています。その地藏さまは「安産地藏尊」といい、安産と子どもたちのすこやかな成長、それに村の安泰を願い、祀られているそうです。さらに言い伝えによると、洪水の際に佐渡（今の西野排水）に流れてきたというのでびっくりです。

そして昨今では、毎年8月24日の夜にその小屋の中で子孫繁栄を祈願する、地藏さま夜会式を行っています。昔は奉納相撲があったくらい盛大だったようです。西野集落の人たちにとってはこの地藏さま夜会式は夏の終わりの風物詩でもあるそうで、もうすぐ秋がきて稲刈りの時期がくると感じるそうです。



●取材／広報委員⑤



●参加料／3,500円  
（材料費・昼食・保険料込み）  
●定員／先着20名  
●申込期限／10月31日(水)  
●申込み／庄内町観光協会  
☎0234-42-2922

### 染物体験と新米御膳ツアー

幻の米「電ノ尾」

観光 あれこれ 掲示板